

1 kmの部  
親子で参加する姿も多く見られた



平成28年の“走り初め”

### 第42回鳩山町正月マラソン大会

新春恒例の鳩山町正月マラソン大会が1月3日、農村公園をスタート・ゴールとするコースで行われ、快晴の青空のもと、延べ309人の参加者が、新春の鳩山を駆け抜けました。

大会は1km、3km、5kmの3つのコースで行われ、参加者は、自己記録更新を目指したり、親子や友達同士で励まし合ったりしながらゴールを目指していました。走り終えた参加者は、ボランティアの方々が用意した温かいとん汁を堪能しました。

#### 第42回正月マラソン大会結果 (敬称略)

◆1kmの部	第1位	第2位	第3位
一般の部 (第1組)	根岸 健太 3分04秒	西田 怜史 3分08秒	荻原 涼輔 3分19秒
一般の部 (第2組)	金子 和生 3分08秒	根岸 偉吹 3分18秒	金谷 恒暁 3分22秒
小学生以下の部 (第1組)	本木 蔵人 3分27秒	澤口 光樹 4分09秒	北澤 快音 4分12秒
小学生以下の部 (第2組)	伊村 空汰 3分29秒	澁谷 勇人 3分53秒	坂元 響 3分59秒
◆3kmの部	第1位	第2位	第3位
一般の部	澤口 大樹 10分40秒	松山 健 10分43秒	吉岡 義光 10分47秒
小学生以下の部	神山 陸 11分40秒	澁谷 知貴 11分50秒	浅野 義人 11分51秒
◆5kmの部	第1位	第2位	第3位
一般の部	小林 信也 16分25秒	村田 優一 16分33秒	久保田 拓登 16分34秒
小学生以下の部	大賀 元太 21分16秒	小池 健太郎 23分23秒	山崎 潤也 23分25秒

皆様のご協力により大会はスムーズに運営されました。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

#### 修了証書を手にする受講生ら



受講者32人が笑顔で修了

### AAAトレーニング教室閉講式

12月15日、多世代活動交流センター内健康づくりトレーニング室で、「AAAトレーニング教室」(主催:町保健センター)の閉講式が行われ、受講者32人に修了証書が手渡されました。

トレーニングは、大東文化大学スポーツ・健康科学部の協力のもと3か月間行われ、閉講式後には、脚伸展筋力などの測定数値に基づくトレーニング効果の検証結果や、健康寿命を延ばすための転ばない体づくり、生活習慣病などを予防する継続的な運動の重要性を学びました。

#### 災害等のない一年を願って

### 西入間広域消防組合消防団出初式

1月10日、鳩山町、毛呂山町、越生町の3町合同による西入間広域消防組合消防団出初式が、越生町中央公民館駐車場で開催されました。式では、鳩山消防団が、地域防災に向けて、今年一年の決意を新たにするとともに、指揮者の号令により、きびきびとした動作で機械器具の点検などを行いました。

また、当日は消防団員による焼きそばや豚汁の無料配布や手押しポンプ体験、同組合の消防署員らによるはしご車搭乗体験や車両救出訓練も行われ、訪れた来場者と交流を深めていました。

放水点検を行う消防団員



### 周囲に感謝し、大人への成長を誓う 平成28年成人式

1月10日、新成人の皆さんの「大人への門出」を祝おうと、平成28年成人式が町文化会館で行われ、今年度成人を迎えた116人のうち98人が会場に訪れました。式典、恩師の言葉、記念写真撮影、成人式実行委員によるアトラクションの4部構成で行われた式場では、旧友や恩師との久しぶりの再会に、写真を撮り合ったり、笑顔で近況を語り合う姿が多く見られました。

誓いのことばでは、新成人を代表して小西 拓志さんが「次々と立ち上がる日本、世界の様々な問題に立ち向かうため、少しずつ成長していきたい」と力強く



誓いのことばを力強く述べる小西さん

誓いました。(誓いのことばの要約版は、24ページ「伝承鳩」内に掲載しています。)アトラクションでは、中学校時代の写真のスライドショーが行われ、会場は笑顔に包まれていました。

#### Voice



式後、新成人の方に今の思いをお聞きしました。

(写真左から)中澤咲子さん、久保田春香さん、瀧野千尋さん、前田みなみさん



◆自分たちのような若い世代の声も聞いてほしいので、選挙には必ず行きたいです。◆「社会には不合理なこともあるが、自分の意志を持った大人になってほしい」という恩師の言葉が印象的でした。◆自分の好きなこと、楽しいことをやって、後悔しないように生きたいです。



(写真左から)佐々木恵太郎さん、蛇口敢汰さん

◆式を迎えたことで、成人としての自覚が持て、気持ちが引き締まりました。また、旧友との再会で、お互いの成長を感じられました。◆教員を目指しているため、誇れるような先生になりたいです。◆学業を通じて、自分の考え方も変化してきているため、将来のことはじっくり考えていきたいです。



懐かしい恩師からの言葉(写真①)や、旧友との再会(②)、実行委員によるスライドショー(③)を楽しんだほか、会場では至る所で記念写真を撮る姿が見られました(④⑤)。

# 認知症を地域で支えるための活動をご報告します

## 認知症を知る、学ぶ

認知症について学ぶ児童ら



## 認知症サポーター養成講座 (in今宿小学校)

町地域包括支援センターでは、認知症を正しく理解し、偏見を持たず、地域で生活する認知症の人や家族を温かく見守る「認知症サポーター」を養成しています。

12月18日には、今宿小学校6年生が「認知症サポーター養成講座」を受講し、サポーターの印となるオレンジリングを全員が手にしました。

講座では、認知症や高齢の方への接し方として、「驚かせない」「急がせない」「自尊心を傷つけない」の3つの“ない”を学びました。

## 認知症地域支援推進員設置事業講演会

12月21日、「認知症が気になり始めたあなたにⅢ～妻の名前は“オーイ”～パート2」と題して行われた講演会(主催：町地域包括支援センター)会場となった町ふれあいセンターに訪れた人の多さから、その関心の高さが伺えました。

講演会では、埼玉県認知症疾患センター(秩父中央病院)精神科医の黒澤 尚ひろし医師が、認知症になった方への対応方法や抗認知症薬の効果などについて、精神科医の見地から説明しました。

認知症の方と接するときに、こうした場で学んだことが役に立つはずですよ。

## 「はーとんカフェ今宿」クリスマス会

毎週火・金曜日の“地域の縁側”として、高齢者が気軽に立ち寄れる場所となっている「はーとんカフェ今宿」。高齢者を地域のネットワークで見守っていくことにも一役買っています。

平成26年2月にオープンして以来、訪れる人を楽しんでもらおうと、運営するボランティアの方々が、約2か月に1回、小イベントを企画しています。

12月22日にはクリスマス会が行われ、ボランティアと参加者で、折り紙などを使ったクリスマスツリーづくりや音楽、手遊びを楽しみました。今回は、オカリナハーモニーの皆さんも参加し、会場は美しい音色で包まれました。

## ネットワークを作る

クリスマス会で音楽を楽しむ参加者



## 音楽で鳩山町をもっと元気に♪ はとやま大人バンドvol.6

12月20日、町文化会館で「はとやま大人バンドステージ Vol.6」が開催され、大人世代を中心としたアマチュアバンド7組が、個性あふれる音楽を会場に響かせました。

「鳩山町をもっと元気に!」を合言葉に集まった各バンドは、クリスマスの時期に合わせた演出をしたり、往年の曲やオリジナル曲を演奏したほか、フラダンスやブラスバンド(吹奏楽)との共演も行い、来場者を楽しませていました。終演前、すべてのバンドが参加し合同セッションを行うと、客席からも歌声が響き、会場は音楽で一体となっていました。

「ぬくもり」をテーマに開催された今年のステージ。来場者からは「中学生も交えて、音楽を通じての異世代交流になっていて温かいステージだった」「なじみのある曲が多く一緒に楽しめた」「アットホームな雰囲気であらう良かった」といった声があがっていました。

なお、出場バンドは以下のとおりです。  
「はとやまバンド」「ステージア」ハートオン「Heart on」「ディミニッシュ」ハーレクイン「めだち隊」「Harlequin」「鳩山ハートビートバンド feat. 鳩中吹奏楽部」(出演順)



「鳩山ハートビートバンド」は、鳩山中学校吹奏楽部との競演により、音楽を通じた交流を行いました。



フラダンスが華を添えた「はとやまバンド」のステージ 迫力あるステージを披露した初参加の「めだち隊」



コマ廻しを楽しむ参加者

## 高齢者が子どもたちの先生に 異世代ふれあい交流

1月5日～7日にかけて、鳩ヶ丘のびのびプラザを利用する高齢者が、習字や自然観察、囲碁などの講師となつて、同じ鳩山小学校の敷地内にある学童保育室銀河鉄道'90に通う子どもたちと交流を深める事業(町健康福祉課主催)が行われました。

1月6日には、コマ・ベーゴマ廻しが行われ、参加した子どもたちは慣れないベーゴマ廻しに悪戦苦闘していました。交流した池島一はじめさんは、「こちら童心に帰って楽しめた。子どもたちから教わることもあった」と笑顔で話していました。

## 町立幼稚園にキリンの親子の絵 絵画寄贈への感謝状贈呈

鳩山町立幼稚園への町民からの絵画寄贈を受け、12月17日、同園で感謝状贈呈式が行われ、寄贈者で作者の森誠さん(松ヶ丘在住)に、荒井基明教育長から感謝状が手渡されました。

「母子(ははこ)」のタイトルがついたキリンの親子の絵に対し、荒井教育長が「この絵が、愛を教える幼稚園教育の一助になり、末永く大切にされることを願います」とあいさつしました。式後、感謝の気持ちを込めて、園児たちがかわいらしい歌声をプレゼントしました。



寄贈された絵と作者の森さん(写真中央の男性)を囲む園児ら